

# Hospital concert

～オンド・マルトノ

コンサート～

日時

2014年

8月21日(木)

17:00～17:40

場所

1階ホスピタル

ストリート

主催

がん研有明病院

ボランティア

運営委員会

大矢 素子

(オンド・マルトノ)



大矢 恭子

(ピアノ)



がん研ボランティアシンボルマーク

## 大矢素子（おおや もとこ） オンド・マルトノ



英国生まれ。東京芸術大学楽理科在学中にオンド・マルトノと出会い、<sup>ハラタカシ</sup>原田節氏に師事。ロータリー国際親善奨学生で渡仏後、パリ国立高等音楽院オンド・マルトノ科に入学、V=H・クラヴリィ氏に師事。2008年以降は文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生として同音楽院で研鑽を積み、2009年マルトノ科を首席で卒業。渡仏前から「オンド・マルトノ 音のファンタジー」シリーズを開催するほか、東京芸術大学、静岡文化芸術大学、東京芸術大学付属高校でレクチャー・コンサートを開催。2009年には、メシアン生誕100年記念で、パリ国立高等音楽院オーケストラのソリストとして世界ツアーを行ったほか、東京芸術大学奏楽堂「メシアン生誕100年」で演奏。帰国後は、オペラシティ「B→C」シリーズ、NHKFM「リサイタル・ノヴァ」に出演のほか、2014年にはNHK Eテレ「スコラ 坂本龍一音楽の学校」にゲスト講師として出演した。

研究面では、月刊『春秋』でマルトノの歴史に関する連載を行い、この楽器の製作者であるマルトノの著書を翻訳出版（『アクティヴ・リラクゼーション』春秋社、2004年）。現代作曲家とオンド・マルトノ作品の関連についても研究している。2012年、マルトノ研究によって音楽博士号取得。音楽学を船山隆、福中冬子の各氏に師事。東京芸術大学非常勤助手を経て、現在同大学専門研究員。



## 大矢恭子（おおや きょうこ）ピアノ

東京音楽大学ピアノ科卒業後、同大学研究科修了。ギルドホール音楽院でさらなる研鑽を積み、帰国後は自身の音楽活動に加え、後進の指導にも力を注ぐ。ピアノを篠崎敬子、故前川幸子の各氏に師事。



 ドビュッシー《夢》

 カノ《月の息子》

 バッハ《フルートソナタホ短調》第三楽章

 バルバラ《私の子ども時代》

 バッハ/グノー《アヴェ・マリア》

 ピアソラ《リベルタンゴ》

 ミヨー《組曲》

 その他

 最後はみなさんと合唱 童謡 《浜辺の歌》

～プログラム～

## ホスピタルコンサートのご報告

【開催日】 2014年8月21日（木）17:00～17:40

【場 所】 ホスピタルストリート

【内 容】 大矢素子 オンド・マルトノコンサート

【演奏者】 (オンド・マルトノ) 大矢素子子様、(ピアノ) 大矢恭子様



8月は、大変珍しいフランスの電子楽器『オンド・マルトノ』のコンサートを開催いたしました。オンド・マルトノの演奏は初めて聴く、という方が多く、会場には沢山の患者さんやご家族にお越しいただきました。言葉では表せられない独特な綺麗な音色で、コンサートの最後には、みなさんと『浜辺の歌』を合唱し、会場が一体となっている光景には、スタッフも感動して目頭が熱くなりました。終了後は、演奏された大矢さんと楽器のまわりに多くの患者さんが興味深く集まってこられ、楽器について沢山の質問をされていらっしゃいました。素晴らしいコンサートをお届けできました。